

リリース・ノート



TG700 型
TV シグナル・ゼネレータ・プラットフォーム
061-A031-55

このリリース・ノートはファームウェア・バージョン 4.1 に対応しています。

www.tektronix.com



061A03155

Copyright © Tktronix Japan, Ltd. All rights reserved.

当社の製品は、米国その他各国における登録特許および出願中特許の対象となっています。本書の内容は、すでに発行されている他の資料に内容に代わるものです。また、製品仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

日本テクトロニクス株式会社 〒108-6106 東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6 階

Tektronix、Tek は、Tektronix, Inc. の登録商標です。

お問い合わせ

製品についてのご相談・ご質問につきましては、下記お客様コールセンターまでお問い合わせください。

お客様コールセンター

TEL 03-6714-3010  **FAX 0120-046-011**

東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6 階 〒108-6106

電話受付時間／ 9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 19:00 月曜～金曜（休祝日を除く）

E-Mail: ccc.jp@tektronix.com

URL: <http://www.tektronix.co.jp>

リリース・ノート

このリリース・ノートは、TG700 型ファームウェア・バージョン 4.1 および 4.0 で追加・改善された機能や追加された信号ファイルなどについて説明したものです。また、TG700 型メインフレームおよびモジュールを使用する上での注意事項についても説明しています。製品を使用する前に、必ずお読みください。

ファームウェア・バージョン 4.1 で追加された機能

ファームウェア・バージョン 4.1 では、次の機能が追加されています。

- AGL7 型 (シリアル番号 J320101 以降) に 48 kHz ワード・クロック出力機能が追加されています。

ファームウェア・バージョン 4.1 で改善された機能

ファームウェア・バージョン 4.1 では、次の機能が改善されています。

- HDVG7 型において、オーディオ・サンプリングの設定を Frame にしている場合、74.25 MHz と 74.25 MHz/1.001 のクロックを使用するフォーマットの切替時に、エンベデッド・オーディオのコントロール・パケットの Audio Frame 値が正しく設定されないという不具合を修正しました。
- オーディオ・レベルの設定のみを変更したプリセットを呼び出したときに、変更が正しく反映されないという不具合を修正しました。

ファームウェア・バージョン 4.0 で追加された機能

ファームウェア・バージョン 4.0 では、次の機能が追加されています。

- TG700 型 (シリアル番号 J32xxx 以降) のシステム・メモリが次のように拡張されています。

標準型 : 16 MB → 32 MB

オプション FP 型 : 32 MB → 64 MB

このメモリ拡張により、AWVG7 型用にプリインストールされるフォーマットが大幅に追加されています。また、オプション FP 型では、TG700 型メインフレームにダウンロードして使用できる静止画の数が増えています。

- HDVG7 型で 720 50p フォーマットがサポートされています。
- SDP2000 (READER) が付属の CD-ROM の Signal Library フォルダに追加されています。このソフトウェアを使用すると、テスト信号のパラメータの確認を行うことができます。詳しい説明については、Signal Library\Document フォルダ内にある TG700 V4_0 Signal Library(J).pdf ファイルを参照してください。

注 : シリアル番号 J32xxx 以降の TG700 型メインフレームには、ファームウェア・バージョン 4.0 以上が必要です。以前のファームウェア・バージョン (1.0 ~ 3.5) に誤ってバージョン・ダウンすると、動作不良になります。この状態からの復旧は、お客様では行えませんのでご注意ください。

信号ファイルの追加と修正

ファームウェア・バージョン 4.0 では、次の信号が追加されています。

- AWVG7 型

1080 23p、1080 24p、1080 25p、1080 29p、1080 30p、1080 50i、720 23p、720 24p、720 25p、720 29p、720 30p、および 720 50p フォーマット (GBR と YPbPr) のテスト信号

- AVG7 型

525Beta フォーマットに、525RT_NS.DNL を追加しました。この DNL ファイルを使用することにより、100% Color Bars No Setup 信号と 75% Color Bars No Setup 信号を COLOR BAR ボタンに追加して使用することができます。

- ARIB STD-B28 規格 ARIB マルチフォーマット・カラー・バー・ライブラリと SMPTE RP219 HD/SD コンパチブル・カラー・バー・ライブラリが付属の CD-ROM に追加されています。これらの信号ライブラリに含まれる DNL ファイルを使用して、すべての 1080 フォーマットで ARIB または SMPTE 規格のマルチフォーマット・カラー・バー信号を追加することができます。

ファームウェア・バージョン 4.0 では、次の信号が修正されています。

■ HDVG7 型

Co-site Pulse (1080 25p)、Equalizer Test (1080 23p、1080 23sF、1080 24sF)、SDI Matrix (1080 23p、1080 23sF、1080 24sF)、PLL Test (1080 23p、1080 23sF)、40% Flat Field (720 24p、720 25p、720 30p、720 50p、720 60p)

自然画サンプルの追加

WaterfallおよびWater-Liliesの2種類の自然画が次のフォーマットでCD-ROMに追加されています。

■ AVG7 型

NTSC、NTSC No Setup、PAL、525 Beta、525 GBR、525 YPbPr、625 GBR、625 YPbPr

■ AWVG7 型

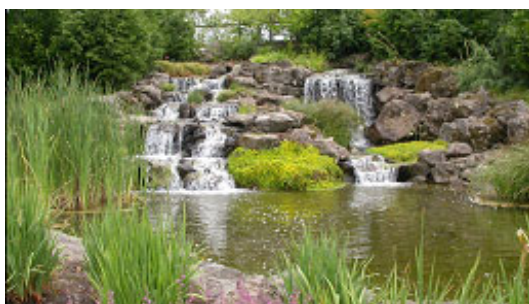
1080/Interlace/GBR、1080/Interlace/YPbPr、720p/GBR、720p/YPbPr

■ DVG7 型

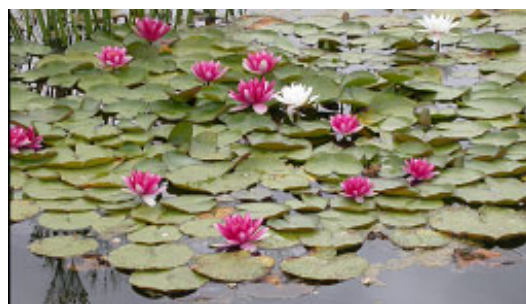
525-270、625-270

■ HDVG7 型

1080/Interlace、1080/Progressive、1080/Segmented Frame、720p



Waterfall



Water-Lilies

追加された信号ファイルを TG700 型にダウンロードする場合には、付属のファイル操作ソフトウェア TG7 Comm を使用してください。

AWVG7 型の自然画サンプル・ファイル (.PIC および .BMP) は、ZIP ファイル形式で提供されますので、ZIP ソフトウェア・ツールを使用して PIC ファイル形式または BMP ファイル形式に変換してください。

ビットマップ・ファイルの追加

75% カラー・バーと 100% カラー・バーのビットマップ・ファイルが、DVG7 型の 525-270、AWVG7 型の 1080、および HDVG7 型 1080 の各フォーマットに追加されています。これらのカラー・バーのビットマップ・ファイルは、Rise/Fall Time が調整されています。ペイント・ツールを使用してロゴや画像をオーバーレイしたビットマップを作成する場合の背景に使用することができます。

* ロゴや画像をオーバーレイするときは、大きなリングングなどが発生しないように、ロゴやオーバーレイする画像をペイント・ツールのフィルタ機能を使用して、支障がない範囲でぼかして帯域制限することが推奨されます。

0% セットアップ・レベル・カラー・バー信号の出力

DVG7 型では、525-143 フォーマットのカラー・バー信号として、COLOR BAR (カラー・バー) と COLOR BAR No Setup (0% セットアップ・レベル・カラー・バー) の 2 種類の信号セットがプリインストールされています。

COLOR BAR No Setup 信号セットを使用する場合は、フロント・パネルの COLOR BAR ボタンに COLOR BAR No Setup 信号を割り当ててください。詳しい手順については、「DVG7 型 デジタル・ビデオ・ゼネレータ・ユーザ・マニュアル」を参照してください。

ARIB/SMPTE カラー・バー信号の出力

HDVG7 型では、1080 59.94i フォーマットのカラー・バー信号として、COLOR BAR (カラー・バー)、ARIB COLOR BAR (ARIB カラー・バー)、および SMPTE COLOR BAR (SMPTE カラー・バー) の 3 種類の信号セットがプリインストールされています。

ARIB COLOR BAR 信号セットまたは SMPTE COLOR BAR 信号セットを使用する場合は、フロント・パネルの COLOR BAR ボタンに ARIB COLOR BAR 信号または SMPTE COLOR BAR 信号を割り当ててください。詳しい手順については、「HDVG7 型 HDTV デジタル・ビデオ・ゼネレータ・ユーザ・マニュアル」を参照してください。

使用上の注意事項

注：本バージョンでは、次の制限事項が確認されております。ご使用の際には、ご注意ください。

TG7 Setup ソフトウェア使用時の注意点

- リモート・コントロールと TG700 型本体のフロント・パネル操作を同時に行うことはできません。
- リモート設定によるタイミングのクロック・ディレイ設定分解能は、 ± 1 クロックとなります。
- AGL7 型の Black2,3 の設定コマンドを使用する場合、フレーム・リセット 1 が 2.997Hz に設定されている状態で、Black2 = HD sync (same as black3) と Black3 = BB (same as black2) のコマンドを同時に送らないでください。フレーム・リセット 1 の状態が不安定になります。この場合には、Power On Default かプリセットを呼び出して解除してください。
- AWVG7 型の 720 25p、720 29p、720 30p、および 720 50p の YPbPr フォーマットは、TG7 Setup から設定することはできません。また、後から追加された信号の一部はセットアップ・ウィンドウに反映されず、選択できないことがあります。

TG7 Comm ソフトウェア使用時の注意点

- ユーザがダウンロードしたファイルや信号ファイル以外のファイルの名称やフォルダ名は、絶対に変更したり削除したりしないでください。システムに異常をおよぼす可能性があります。
- ダウンロードしたユーザ・ファイル（信号ファイル、シーケンス・ファイル、プリセット・ファイルなど）のファイル名は、ダウンロード後にも変更することができますが、変更結果を反映させるためには電源の再投入が必要です。

出力信号の再設定時の注意点

フォーマットの切り替え、プリセットの呼び出し、信号ボタンの割り当てなどの信号データの再読み込み・再設定が行われる動作を実行すると、信号出力の中断および同期ショックが発生します。

プリセット呼び出し時の注意点

HDTV フォーマットで使用する内部クロック設定に矛盾がある場合、警告メッセージが表示されますが、このメッセージはプリセットを呼び出した場合には表示されません。

リモート・コマンドを使用してユーザ・プログラムを作成するときの注意点

フォーマットの切り替えやプリセットの呼び出しなどの実行完了に時間が必要なコマンドを送ったときには、動作の完了を待ってから次のコマンドを送ってください。

AGL7 型で GEN ロック・ソースを CW に設定した後の注意点

AGL7 型で、GEN ロック・ソースを CW に設定した後、フレーム・リセットの周期が変更されるような設定を行うと、フレーム・リセットが正しく選択されない場合があります。このような場合には、再度 CW のフレーム・リセット設定を行ってください。

信号およびフレーム・ピクチャをフロント・パネル・ボタンに割り当てる場合の注意点

- ダウンロードした信号をフロント・パネル・ボタンに割り当てる場合、フォーマットの異なる信号を同じボタンに割り当てないでください。
- フロント・パネル・ボタンの割り当ては、現在出力されている信号の信号ボタンに対しては行わないでください。また、“No Signal Set Assigned” と表示された状態では行わないでください。OTHER ボタンの割り当ての変更を行なう場合は、OTHER ボタン以外の信号を出力した状態で行ってください。

ID テキスト編集時の注意点

入力したテキストの文末は、空白文字を使用して削除することができます。ただし、ENTER ボタンを押して入力を確定した後、もう一度文字の入力をやり直す場合は、いったん OVERLAY サブメニュー（またはメイン・メニュー）に移動し、再度 ID TEXT サブメニューに戻ってください。

HDVG7 型における 720p フォーマット信号のエンベデッド・オーディオについて

720 50p、59.94 p、および 60p 以外のフォーマットでは、エンベデッド・オーディオは UNCHECKED です。このため、エンベデッド・オーディオの設定を行っても正常な出力が得られないことがあります。